

児童朝会 校長の話 11月9・10日

今週水曜日に、来年度入学する1年生の就学時健診があります。例年は5年生がお世話をしますが、今年は感染症対策のためできません。その代わりに5年生は、受付番号のついたメダルを作っています。学校のマークが付いた素敵なメダルです。できないこともあるけれど、できることを考えて準備するのは素晴らしいことです。新1年生も喜ぶことでしょう。5年生、ありがとうございます。



ところで、ずいぶん寒くなってきましたね。先週の土曜日11月7日は「立冬」でした。24節季と言って中国で作られた季節の表し方です。冬が立つと書きます。冬の気配が現れてだんだんこれから冬らしくなってきますよということです。春が近づくのは「立春」立春の前の日は何ですか？豆を撒きますね。「節分」です。冬から春に季節が変わるので、季節の

変わり目で悪い気が入ってくるといけないので、豆撒きをして追い払います。夏が近づくのは「立夏」です。今年は5月5日でした。秋が近づくのは「立秋」です。9月22日でした。こうやって冬から春、夏、秋と季節が巡っています。

さて、立冬を過ぎて冬が近づきましたが、冬の真ん中、日が一番短くて夜が長い日は何と言いますか？「冬至」そうですね。今年は12月21日です。反対に夏の真ん中、一番日が長くて夜が短い日は何と言いますか？「夏至」そうですね。では、春の真ん中、昼と夜が同

じ長さになる日は何と申しますか？「春分」来年は3月20日。皆さんが卒業式や修了式を迎える頃です。秋の真ん中で、昼と夜が同じ長さになる日は何と申しますか？「秋分」今年は9月22日でした。

冬の気配がして寒くなってきましたが、風邪などひかないように、元気に過ごしてください。寒くても、休み時間には窓を開けて換気をし、水が冷たくなってきましたが、手洗もしっかりしてください。